

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

I 事業属性

事業名	未来につながる人と森づくり事業							事業コード	020110202301					
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち					政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな資源環境の保全と活用						施策コード	231					
事業担当	所属	02090000 地域振興部 夜久野支所					所属長	中島 美香						
会計情報	款	02 総務費		項	01 総務管理費		目	10 地域交流推進費		会計	01 一般会計	決算附属資料	86	頁
計画期間	開始年度	令和5年度		終了予定年度	令和7年度		関連計画名	-			R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	-													
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (													

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	夜久野地域の豊かな地域資源(森林・丹波漆・宝山など)と歴史を活かし、担い手の育成により、持続可能な循環型の地域づくりを行う。				
対象者	夜久野地域への移住希望者と夜久野地域住民	対象者数	3,100	単位あたりコスト	4.4
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)			
予算情報	① 当初予算	0		9,131		3,698		0			
	② 補正予算	0		0		0		0			
	③ 繰越予算	0		0		0		0			
	前年度繰越	0		0		0					
	次年度繰越	0		0							
小計(①～③)		0		9,131		3,698		0			
予算財源内訳	① 一般財源	0		2,605		0		0			
	② 国支出金	0		2,605		1,841		0			
	③ 府支出金	0		2,871		0		0			
	④ 地方債	0		0		0		0			
	⑤ その他特財	0		1,050		1,857		0			
決算情報	① 流充用額	0		△ 5,659							
	② 配当予算	0		3,472							
	③ 執行額	0		3,472							
	④ 執行率	0.0%		100.0%							
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.00 / 0.00		1.15 / 0.35		/		/			
	② 概算人件費	0		10,180							
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		0		13,652							
主な利用特財 (N-1年度実績値)	特財名称	未来につながる人と森づくり事業(デジタル田園都市国家構想交付金)		種類	総務費国庫補助金		実績金額	472		15	頁
		未来につながる人と森づくり事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)			総務費府補助金			1,771			
		未来につながる人と森づくり事業(移住・定住・交流推進支援事業助成金)			雑入			691			
								決算附属資料		22	
										47	

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	夜久野地域への移住者	人	/	/	13 / 15	/ 15	15
	夜久野に住み続けたいと思う人の割合	%	/	/	- / -	/ -	令和5年度比10%増
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	ワークショップ参加者数	人	/	/	24 / 60	/ 60	60
	単位あたりコスト				144.7		
	単位あたりコスト		/	1 /	/	未来につながる人と森づくり事業	

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・マルシェや木育イベント等を開催することで、夜久野の魅力を市内外に発信することができた。	☐ 高い ☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・マルシェ出店者からの負担金の徴収や、イベントスタッフにボランティアスタッフを募集するなど事業実施における経費の削減に努めた。	
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	・一定数の移住者はあるが、本事業による効果かどうかを把握することが困難。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	・ファームガーデンやくのでマルシェを開催することで、一時的ではあるが夜久野高原や道の駅「農匠の郷やくの」のPRもできており、一定の成果を上げていると考えている。 ・木育イベントを開催し、市内外から多くの来場があり、夜久野地域の豊かな森林資源をPRすることができた。 ・夜久野の地域資源を再発見し、発信するために関係団体との協議・調整が必要となる。 ・当初委託で予定していた業務を直営で実施したことによる経費削減のため、執行率が低くなった。		
改 善 策	・移住定住促進事業や農林関連事業とも連携しながら、夜久野の地域資源を守り、活かしていく人づくり・まちづくりに向け、地域資源の発信等を実施することで、関係人口の増加、更に夜久野地域への移住者の増加に繋げる。 ・夜久野の地域資源を再発見し、発信するためにマルシェ、森フェスタの実行委員会等で協議を実施する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

| 事業属性

| 事業属性

II 事業基礎情報

III 予算執行状況

区分

成貝索維

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	環境調査の基準値以内割合	%	100 / 100	100 / 100	100 / 100	/ 100	100
			/	/	/	/	
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R3	R4	R5	R6	最終目標
	環境調査	件	4 / 4	4 / 4	4 / 4	/ 4	4
		単位あたりコスト	270.5	334.5	698.8		
			/	3 /	/	環境保全一般事業（生活環境課	
		単位あたりコスト					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	・公害苦情処理は、法令に基づき行政で実施する必要がある。公害に苦しむ市民の要求に応えるものであり、優先度は高い。市民への啓発も必要である。・環境測定は、環境公害については以前より懸案となっている地域において、実施するものであり、市民ニーズに応えるものである。騒音については、国の法廷受託事務である。・公害苦情処理・環境測定業務を実施	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	・環境保全の啓発資材や環境対策関連会議の旅費など最低限に必要な経費のみである。・啓発活動は、費用のかからない施設の利用などコスト削減に取り組んでいる。・環境測定には国家資格や高価な測定機器が必要であり、業者委託が最も効果がよい。・委託価格も市販の積算図書の価格以下であり、妥当な価格である。・環境測定業務を業者に発注	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	環境測定成果目標は、過去の実績から設定した目標である。・市が実施する環境調査にて、全て測定項目が基準値以内となることで、環境公害の発生を未然に防ぐ。・環境測定は、測定時期、場所などは、地元希望も聞きながら行っている。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	・公害から生活環境を守ることは、行政としての責務であり、継続して取り組まなければならないが、市民・事業者側の環境保全に対する意識も重要であり、市民一人ひとりの実践も重要であるため、引き続き環境保全への取り組みを強めていく必要がある。 ・公害苦情については、法令違反を明確に確認出来ない事例が多くあり、強い行政指導ができず、事業者努力を促す継続案件となり、根本的な解決に及んでいないケースが増えていることが課題である。		
改 善 策	課題事例に対して、原因者、市民双方の理解を得られるよう、関係機関と連携し、環境問題の苦情の解決に努める。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	森林経営管理事業										事業コード	060202210101			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用								施策コード	231				
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	中田 浩二						
会計情報	款	06 農林業費		項	02 林業費		目	02 林業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	170	頁
計画期間	開始年度	令和元年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山市森林経営管理意向調査実施計画					R6現在の状況	継続中	
根拠法令等	森林経営管理法														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☐ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

II 事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	森林の適正な経営や管理が行われないと、土砂災害の防止や水源涵養等へ影響を及ぼすことが懸念されるため、「森林経営管理法」が施行され、森林の適正な経営や管理を行わなければならないこととなっている。 このため、森林の経営管理に係る意向調査等を実施し、適正な経営や管理が行われていない森林整備の促進を図る。				
対象者	市内森林所有者(森林簿情報、共有者数含まない)	対象者数	14,502	単位あたりコスト	4.9
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

III 予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)					
予算情報	① 当初予算	113,322		68,229		95,090		0					
	② 補正予算	△ 10,000		0		0		0					
	③ 繰越予算	0		0		0		0					
	前年度繰越	0		0		0							
	次年度繰越	0		0									
小計(①～③)		103,322		68,229		95,090		0					
予算財源内訳	① 一般財源	59,509		33,830		95,090		0					
	② 国支出金	0		0		0		0					
	③ 府支出金	0		0		0		0					
	④ 地方債	0		0		0		0					
	⑤ その他特財	43,813		34,399		0		0					
決算情報	① 流充用額	△ 63		0									
	② 配当予算	103,259		68,229									
	③ 執行額	101,701		67,265									
	④ 執行率	98.5%		98.6%									
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.45	/	0.00	0.29	/	0.55	/					
	② 概算人件費	3,600		3,860									
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		105,301		71,125									
主な利用特財 (N－1年度実績値)		特財名称	森林経営管理事業基金繰入(森林環境譲与税基金)		種類	基金繰入金		実績金額	37,192		決算附属資料	41	頁

IV 業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	森林経営計画認定面積(市内)	ha	2966	/	4150	2880	/	4150	集計中	/	4150
	森林整備面積(市全体)	ha	258	/	587	141	/	587	－	/	－
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	森林経営管理権集積計画設定地区	地区	1	/	2	1	/	2	1	/	3
	単位あたりコスト		0.0				67265.0				
	森林経営管理実施権配分計画設定地区	地区	0	/	2	5 ¹	/	2	1	/	3
		単位あたりコスト					67265.0				森林経営管理事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度 ¹ の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	温室効果ガス排出削減目標の達成や、近年多発する大規模災害等の防災面において、森林整備が喫緊の課題とされており必要な事業である。森林整備を推進するものであり、森林経営管理法に基づき市町村が担うべきものである。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	財源として、国から譲与される森林環境譲与税を充当し事業を実施している。事業内容においては、競争入札によりコスト削減を実施している。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	森林経営管理権を設定することで、手入れされていない森林を、市又は林業事業者が管理することになるため、市全体の森林整備面積の増加に寄与すると考えられる。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	令和4年度に作成した「経営管理実施権配分計画」(観音寺地区)に基づき、国府補助事業を活用し、令和5年度に森林整備が実施された。また、昨年度に引き続き、平野・板生地区及び有仁地区の一部(二箇地区)において、森林境界明確化を実施できた。ただし、意向調査箇所が膨大であり、喫緊の課題である森林整備を実施するまでに多大な労力、時間ともに要している。		
改 善 策	これまでの森林境界明確化の取組により、森林所有者への効率的な説明方法や同意の取り付けについてはブラッシュアップしている。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	福知山千年の森づくり事業										事業コード	060202220401			
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生かし、次世代につないでいくまち						政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用								施策コード	231				
事業担当	所属	25020000 産業政策部 農林業振興課						所属長	中田 浩二						
会計情報	款	06 農林業費		項	02 林業費		目	02 林業振興費		会計	01 一般会計		決算附属資料	172	頁
計画期間	開始年度	平成20年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	福知山千年の森づくり基本計画				R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	-														
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☐ 市単独事業 ☐ 内部庶務の事業 ☐ その他 (														

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	「福知山千年の森づくり基本計画」に基づき、新たな計画では、自然・歴史・伝説など様々な地域資源の魅力を発信することで誘客を図り、国定公園の価値の再発見・再定義を通じた関係人口を創出することで、自然環境の保全と地域振興へとつながり、また誘客へとつながる好循環の創出を目指し、「オンリーワン」の森林公園づくりを行う。				
対象者	国定公園来訪者数	対象者数	79,000	単位あたりコスト	0.1
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (				

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	7,260		5,222		4,589		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		7,260		5,222		4,589		0						
予算財源内訳	① 一般財源	0		0		0		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	7,260		5,222		4,589		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	0		0		0		0						
決算情報	① 流充用額	△ 2,915		△ 833										
	② 配当予算	4,345		4,389										
	③ 執行額	4,053		2,574										
	④ 執行率	93.3%		58.6%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	0.49	/	0.00	0.32	/	0.00	/						
	② 概算人件費	3,920		2,560										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		7,973		5,134										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	福知山千年の森づくり事業(豊かな森を育てる府民税市町村交付金)		種類	農林業費府補助金		実績金額	2,574		決算附属資料	26		頁

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績/目標	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	国定公園への来訪者数	人	73000	/	257000	79000	/	257000	89000	/	257000
	自然環境の保全・活用事業の参加者数	人	803	/	-	1300	/	-	1141	/	-
活動実績 (アウトプット) 実績/計画	指標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標
	千年の森づくり活動参加者数	人	52	/	146	89	/	146	209	/	146
	単位あたりコスト		156.7		45.5		12.3				
	イベント(#千年の森)の参加者数	人	-	/	0	789	/	50	209	/	100
	単位あたりコスト		0.0		45.5		12.3				

福知山千年の森づくり事業

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標 に対する貢献度
必 要 性	・市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か ・民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か ・目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	国定公園に指定されたエリアを「福知山千年の森づくり事業エリア」と位置づけ、市民と一緒に森づくりを進めるものであり、本市の自然環境保全、環境拠点となることから、市が関与する必要性は高い。 令和5年度においては、全国の未就学児・小学生を対象としたイベントを開催し、国定公園内の自然の魅力を学び、自然を体感してもらった。	☒ 高い
効 率 性	・受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か ・他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか ・コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	トレイルラン教室においては、コース整備や実施することにより経費を最小限に抑えた上で実施した。 企業とパートナーシップ協定を結び、協力企業が独自に作成する特集ページやSNS発信を行った。	☐ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	・成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか ・活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか ・先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	国定公園を活かし、市民に対して自然環境保全、地域振興などにつなげることと、未就学児・小学生などの次世代への環境教育、市民の財産である自然を保全管理していく事業であり、有効性は高い。	
定性的な面も含めた自己評価 及び現状の課題	2年目のトレイルラン教室は募集を全国に広げたことにより、より広範囲に国定公園のファンとなっていただくきっかけづくりを行った。 アウトドアグッズなどのセレクトショップを経営する企業と協定を結び、SNS等を活用した情報発信をしていただいたことにより、幅広い層に「福知山千年の森づくり基本計画」を知っていただく機会を得た。 福知山公立大学の学生を「福知山千年の森 若芽サポーター」に任命し、トレイルラン教室にボランティアとして参加していただき若い世代の関係人口を生み出した。 今後、様々なアプローチにより、より多くの方が森林に興味を持ち、持続的に森づくりに関わって下さる仕掛け作りが重要になってくる。		
改 善 策	令和6年5月に「福知山千年の森づくり基本計画」を推進する官民連携の協議体を作り、事業展開を図っていく。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の 事業の見直し 及び 予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--

福知山市 令和6年度事務事業評価シート

(単位：千円)

事業属性

事業名	都市計画費一般管理事業										事業コード	080401510203				
政策体系	基本政策	2 市民一人ひとりが、自然、環境や地域資源を守り、生き、次世代につないでいくまち							政策目標	3 自然と共生する地域空間の形成						
	施策名	1 豊かな自然環境の保全と活用										施策コード	231			
事業担当	所属	35050000 建設交通部 都市・交通課							所属長	岡部 隆幸						
会計情報	款	08 土木費		項	04 都市計画費			目	01 都市計画総務費			会計	01 一般会計	決算附属資料	190・191	頁
計画期間	開始年度	昭和30年度		終了予定年度	令和8年度		関連計画名	－					R6現在の状況		継続中	
根拠法令等	－															
事業区分	☐ 法定受託事務 ☒ 国府補助事業 ☒ 市単独事業 ☒ 内部庶務的事業 ☐ その他 (															

事業基礎情報

事業目的 (施策実現に向けて 事業が果たす役割)	本市の地域特性を活かし、まちづくりの基本的な課題の解決を図るため、将来を見据えた都市計画を定めて、秩序ある土地利用を促進するとともに、円滑な都市活動を支える都市施設の整備を推進し、都市計画マスタープランにまちの将来像として掲げる「安心して暮らせる、しなやかで強靱な都市」の実現をめざす。					
対象者	市民		対象者数	75,000	単位あたりコスト	0.7
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 業務委託 ☐ 指定管理 ☐ 補助金交付 ☐ その他 (					

予算執行状況

区 分		R4(評価前年度)		R5(評価年度)		R6(本年度)		R7(要求年度)						
予算情報	① 当初予算	7,382		7,706		3,442		0						
	② 補正予算	0		0		0		0						
	③ 繰越予算	0		0		0		0						
	前年度繰越	0		0		0								
	次年度繰越	0		0										
小計(①～③)		7,382		7,706		3,442		0						
予算財源内訳	① 一般財源	6,492		6,750		2,303		0						
	② 国支出金	0		0		0		0						
	③ 府支出金	62		139		73		0						
	④ 地方債	0		0		0		0						
	⑤ その他特財	828		817		1,066		0						
決算情報	① 流充用額	1,784		△ 808										
	② 配当予算	9,166		6,898										
	③ 執行額	7,127		5,850										
	④ 執行率	77.8%		84.8%										
人概工算	① 従事職員数 正職員/会計年度任用職員 ※R4は、正職員/非常勤嘱託職員	8.24	/	1.15	5.07	/	2.00	/						
	② 概算人件費	69,140		46,160										
トータルコスト (予算執行額+概算人件費)		76,267		52,010										
主な利用特財 (N-1年度実績値)		特財名称	区画整理成果証明手数料		種類	土木手数料		実績金額	73		13	頁		
			都市計画関係証明手数料			土木手数料			6				決算附属資料	13
			屋外広告物許可申請手数料			土木手数料			541					

業績指標

成果実績 (アウトカム) 実績／目標	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	定性的評価		/		/		/		/			
			/		/		/		/			
活動実績 (アウトプット) 実績／計画	指 標	単位	R3		R4		R5		R6		最終目標	
	研修参加回数	回	6	/	12	16	/	13	8	/	8	0
		単位あたりコスト	1192.7		445.4		731.3					
	都市計画審議会開催回数	回	2	/	2	9	/	2	1	/	3	都市計画費一般管理事業
		単位あたりコスト	3578.0		7127.0		5850.0					

V 一次評価(事業担当所属内による自己評価)

項 目	評価の観点	評価の観点に寄与したR5年度の取組事項	施策・施策成果指標に対する貢献度
必 要 性	- 市民や社会のニーズを的確に捉えた事業か - 民間事業者や市民が自ら実施することのできない事業か - 目的・目標の達成手段として適切で、優先度の高い事業か	- 主に事務的経費に係る予算であり、恒常的に必要な経費である。 - 都市計画審議会の開催や関係法令の規定に基づく手続き等の適正な運用を図ること、環境や地域資源を生かした魅力ある都市空間の形成を推進する。	☐ 高い
効 率 性	- 受益者との負担関係や単位あたりコストは妥当な水準か - 他の手段や方法とのコスト比較は十分行われているか - コスト削減や効率化に向けた工夫が施されているか	関係機関等との会議は、ウェブ会議を積極的に活用し事務の効率化に努めた。	☒ やや高い ☐ やや低い ☐ 低い
有 効 性	- 成果目標は理にかなない、実績は適切に把握・測定されているか - 活動実績は見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか - 先行事例の分析や外部資源の活用は十分行われたか	- 事業の目的・目標を達成するため、職員の積極的な研修参加を推進し、専門性や能力の向上を図る。 - 関係法令の規定に基づく届出や許可等の手続き事務が適切な運用のもと着実に実施されることで計画的な土地利用が推進される。	
定性的な面も含めた自己評価及び現状の課題	- 都市計画審議会等の経費や事務用消耗品が大半を占める本予算事業は、恒常的に欠かすことのできない事業であり、今後も継続的な運営が望まれる。 - 限られた予算や時間を有効に活用するため、リモートによる会議や研修を積極的に活用した。今後は、市民サービスの向上をめざし、各種手続きのオンライン申請等に対応する必要がある。		
改 善 策	- 都市計画図は、計画的な修正と合わせて、市民のニーズに対応した効果的な情報提供方法を確立するため、販売や在庫の確保・管理方法の見直しを含めた検討を進める。 - 関係法令の規定に基づく届出や許可申請等の手続きのオンライン化に積極的に対応する。		

VI 二次評価(事業所属外による他部署評価)

事後評価コメント	事業評価実施後に記載(対象事業のみ)
----------	--------------------

VII 評価をふまえた次年度事業方針

担当課の事業の見直し及び予算要求方針	方針区分	評価を踏まえた見直し内容
	☐ 事業の見直し ☐ 統合／組換 ☐ 廃止／休止 ☐ 事業の見直しなし	

VIII 予算反映結果

予算反映結果	☐ 現状維持 ☐ 廃止/休止 ☐ 予算拡充 ☐ 予算縮減 ☐ 他事業を統合 (統合事業名:) ☐ 他事業へ統合 (統合先事業名:)
--------	--